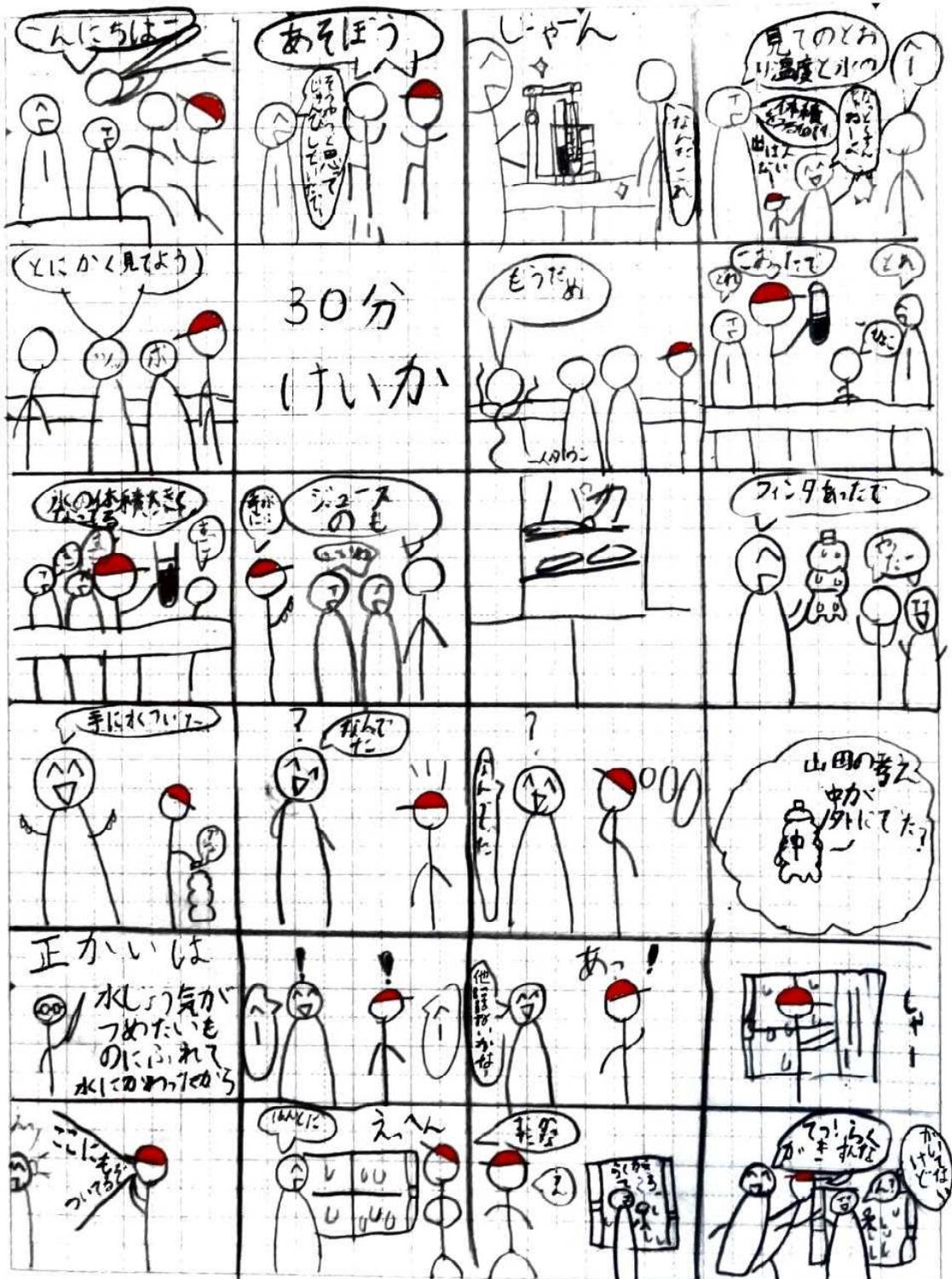




1380 4年生の単元まとめノートのマンガ(4)

○Aさん

冷蔵庫で冷やしたボトルの水滴、窓についた水滴。生活にむすびつけているところがいいね。





1381 4年生の単元まとめノートのマンガ(5)

○Bさん

かわいらしくまとめられています。次は、もっと線を濃く描きましょう。





1383 COP25(気候変動条約締約国会議)

スペインで気候危機の国際会議

が行われています。

2030年までに気温上昇を1.5℃に抑えないと異常気象が増えます。

南極大陸の氷は簡単に溶けないと考えられていました。でも3年前から、海面近くから急ピッチで溶け出していました。全部溶けると海水は55m上昇します。

三島小学校の位置で海拔12m。三島は海に沈みます。

冬になると海の上層の水温が下がり、海底に沈みます。気候危機で水温が下がらず海底に沈まなくなっています。上層の海水が沈むことで海底の海水が上がる循環があったのがなくなってきています。

上層の海水だけ酸素をふくんでいて、海底に酸素を届けます。海底の栄養が豊富な海水が上層に栄養を届けます。これがなくなる！

栄養不足の上層、酸素不足の海底。海の生物に大きな影響が出ます。

気温上昇を1.5℃以内に抑えないと大変！だから原因となる二酸化炭素を出すのを減らそう！各国は二酸化炭素を出す量を減らす目標を決めています。しかし、全部を合計しても、減らす量にはまったく足りません。目標を5倍にしないと足りない状況です。

40年以上前から「大変なことになる！」と赤信号が出ているのに、対策が進みません。世界で気候危機に対する若者の抗議活動が起きています。気候危機の被害をもろに受ける若い世代は政策の意思決定に加われていません。意志決定をする世代は、対策ができていません。

「今年、異常気象で最も深刻な被害を受けたのは日本」とドイツの環境NGOが報告している。にも関わらず、日本は二酸化炭素を最も出す石炭火力発電を増やそうとしています

温暖化前の冬の海

水温が下がらない海

